

「体験の風をおこそう推進月間事業」 ※子どもゆめ基金助成活動

ピーナッツフェスタ2010 IN CHIBA

# 活動報告書



2010年10月10日（日）

主催：特定非営利活動法人あもーるちば

# ピーナッツフェスタ2010 IN CHIBA

～当日の活動の様子～



雨もやみ、みんなで落花生の収穫



こんなにたくさん、実がついてるよ！



引っこ抜いたら、土の中に落花生がたくさん！



ぼくは虫に夢中です！



茹で落花生用に実をもじっています。



すっかり農家の子どもの様に！



☆ひと仕事した後は、ランチタイム☆  
 温かいお味噌汁と茹で落花生がおいしかった！

ボランティアのお兄さんたち、ありがとう！



昼食後、ちびっ子と女性は、栗ひろいへ。



栗もこんなにたくさん、取れました。大満足！

生まれて初めての、畑サッカー。  
 自然の土の中を裸足で走り回り、  
 気持ちよかった！  
 足が土に埋もれてしまい、想像  
 以上に疲れました。





予想以上の熱戦が繰り広げられました。



楽しかった！畑サッカー大好評でした。



最後は、講師の土屋徳多郎さんと残ったみんなで、記念撮影。みんな笑顔の1日でした。

## ◇参加してくれたお友達の感想

- ・落花生を土から抜くのが面白かったです。栗ひろいは楽しかったけど痛かった。  
(千葉市立蘇我中学校1年生)
- ・畑サッカーは初めてやってみて、すごく面白かったし、楽しかったです。畑サッカーはグラウンドでやるサッカーより、すごく難しくて苦労しました。  
畑サッカー、最高！(千葉市立泉谷中学校1年生)
- ・畑サッカーが思った以上に思い通りにプレーできなくてボールをコントロールするのが大変だった。毎日、畑サッカーをしていれば体力がすごくつくと思った。  
ビーチサッカーのような感じだった。(千葉市立都賀中学校1年生)
- ・いつもは普通の土のグラウンドや人工芝でやっているけれど、畑でサッカーをやるのは初めてだったので楽しかった。(千葉市立都賀小学校5年生)
- ・根っこからピーナッツを抜く作業で土を落とすときに音がして面白かった。  
畑サッカーで土のふかふかが面白かった。(千葉市立大森小学校5年生)
- ・落花生の収穫が楽しかった。根本からとってたばねたあと、実を取るのが楽しかった。  
(千葉市立大森小学校2年生)
- ・畑で初めてサッカーをして楽しかった。優勝してうれしかった。  
(千葉市立川戸小学校5年生)
- ・土に埋まっている落花生の実を掘り出すところが面白かったです。  
(千葉大学教育学部附属中学校1年生)
- ・畑サッカーは穴にはまりすぎて身体がうまく使えなかった。  
(千葉市立大森小学校3年生)
- ・畑でサッカーをしたとき、ボールがあまり前に進まなかったけど、楽しかった。  
(千葉市立有吉小学校5年生)
- ・畑でサッカーをするのが初めてだったので、最初はボールがどのように跳ねて

どのくらいとぶのか心配でした。実際にやってみたらボールのコントロール、パスのスピードが思ったより進まなかったり、とびませんでした。その中で工夫して4ゴール1アシストができて嬉しかったです。(千葉市立加曽利中学校1年生)

- ・落花生を土から引っこ抜いて、逆さまに束ねて立てた後、実をもじるのが面白かったです。土の中にあんなにたくさん実があるとは思いませんでした。1つの種から、こんなにたくさんの実になるなんてびっくりしました。また、他の作業もやってみたいと思いました。(千葉市立大森小学校4年生)

※他にも、落花生の収穫、畑サッカー、栗拾いが楽しかったという感想がたくさんありました。アンケートに答えてくれたお友達、ありがとうございました。

◇今回の作業は収穫でしたが、他にやってみたい作業は？

- ・一番多かったのが「種まき」、次が「ぼっちを作る」でした。

◇落花生の他に育ててみたいものは？

- ・いろいろな野菜や果物があがりましたが、一番多かったのが、「すいか」でした。「いちご」や「さつまいも」という意見も多かったです。他にも、なしやぶどう、メロンなど、育てたいというよりは、自分が食べたいものがあげられていたようです。(笑)

◇次回に向けて・・・

今回は、1回だけの「収穫作業」と「畑サッカー」を組み合わせた体験活動でしたが、雨にもかかわらず幼児から小中学生と保護者の方々に参加していただきました。

オリエンテーションで、講師の土屋徳多郎さんにお話をいただきましたが、86歳になるまで、農家として現役でやってこられたことに、心より敬服します。

落花生は、日常的に食するものではありませんが、他の作物を作る農家にも思いを巡らせ、土屋さんのように、日本の食を支えてくださっている方たちがたくさんいることを忘れてはならないと思います。

土屋さんの「良い土ができるには15年かかるんです」という言葉には、重みがあり

考えさせられます。落花生だけでなく、他の野菜や果物を作るにも、本当に良いものができるには、それだけの年月（時間だけでなく経験）が必要なのかもしれません。

私たち人間も、人としての土台ができるまで、生まれてから15年の間にどんな経験をするかがとても大切だと思います。ひとつのことを極めた土屋さんだからこそ、語る言葉に説得力があり、そこから学ぶべきことがたくさんあります。

今回の体験活動は、農地を体験のために開放して下さったり、道具などを貸して下さったり、土屋さんはじめ地域の皆様のご協力なしには実現できませんでした。本当にありがとうございました。

参加してくれたお友達の意見を見て、来年は、希望者がいれば種まきから収穫してぼっちを作るまで、一連の流れがわかるような体験活動を企画したいと思います。

春と秋には畑サッカーをやるのはもちろん、人気のあった「すいか」栽培にも挑戦して、夏の草取りの時期に、自分達で育てたすいかを食べられたら面白いなと考えています。

今回参加して下さった方には、企画が整いましたら案内を送付します。ぜひ、また参加してくださいね。当日は前日から大雨が残る中参加して下さり、ありがとうございました。皆さんの熱意で、天気予報に反して雨も止んでしまいました。

ボランティアの皆さんも、子どもたちが楽しめるように誠心誠意、協力して下さりありがとうございました。

最後に、この活動は子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）の助成が内定したために、実現することができました。

たくさんの人たちの協力や支えがあって、報告書の最後の写真のように、みんなが笑顔で1日を過ごし、楽しく素敵な体験をすることができました。

すべての人々に、心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

特定非営利活動法人あもーるちば

〒260-0805

千葉市中央区宮崎町546-50

TEL/FAX 043-263-2372

Email: [ryosukef@tbt.t-com.ne.jp](mailto:ryosukef@tbt.t-com.ne.jp)

担当: 古川 亮介